

小泉ひろき 県政レポート

2022年12月VOL.4



1981年(昭和56年)10月14日生まれ 41歳

- 学歴 / 京都市立砂川小学校、京都市立藤森中学校、京都府立鳥羽高等学校卒業
- 経歴 / 2009年 芸能プロアトムズプロダクション所属、2013年 衆議院議員 中野洋昌事務所入所、2019年 兵庫県議会議員選挙初当選(1期)、県議会健康福祉 常任委員会副委員長

【発行】兵庫県議会 公明党・県会議所 小泉ひろき 〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1 tel/078-362-3727

「多部制高校」進学希望者のニーズに合った各部定員の改定

第352回定例会、第358回定例会で質問しました！

県議会公明党・県民会議が2019年9月定例会において、多部制高校の進学希望者の定員数について代表質問。その後も定例会での質問や知事等への要望を続けました。結果、2023年度より、多様な学びの場である多部制高校の募集定員の改定が実現しました。

県立西宮香風高等学校
県立阪神昆陽高等学校

1部（午前）→ 20名増
 2部（午後）→ 20名増
 3部（夜間）→ 40名減

多部制高校とは…

生徒が仕事や生活の環境などのライフスタイルや学習ニーズに応じて、午前（1部）、午後（2部）、夜間（3部）の時間帯を選び、学習に取り組むことができる高校です。



県立西宮香風高等学校



県立阪神昆陽高等学校



兵庫県版リトルベビーハンドブックの作成・運用を実現

第358回定例会で質問しました！

2022年度6月定例会において、小さく生まれた赤ちゃんのためのリトルベビーハンドブックについて兵庫県議会で初めて質問。その後、兵庫県の保護者サークルからも要望を受け、知事等に対し冊子化も含め訴え続け、現在、県のホームページにおいて作成・運用が実現。今後も、お母さん、お父さん、ご家族の皆さまが安心していただけるようリトルベビーハンドブックになるよう、引き続き求めて参ります。



リトルベビーハンドブック（暫定版）

ひょうご保育料軽減事業

子育て世帯の経済的な負担を減らすため、0～2歳のお子さんの保育料に対して補助が行われています。この制度は特に、0～2歳児への支援が手薄になっていることから、県議会公明党・県民会議として長年推進してきました。

対象者

保育所、認定こども園、小規模保育事業、家庭の保育事業、事業所内保育事業、居宅訪問型保育事業、企業主導型保育事業を利用している児童

※ただし、国による利用者負担の軽減措置（同時入所の第2子半額、第3子無料など）を受けている方を除く



	第1子	第2子以降
所得要件	市町民税所得割額 57,700円未満 （～年収360万円相当）	市町民税所得割額 155,500円未満 （～年収640万円未満）
補助額	月額5,000円を超える保育料に対して、以下の額を限度に補助 ※保育料の1/2と比較しての低い方の額を限度	
	上限 10,000円	上限 15,000円

不妊治療ペア検査助成事業

少子化対策として、国において不妊治療への保険適用が2022年度から実施されています。県議会公明党・県民会議は、不妊治療の入り口として重要な不妊検査を夫婦で受診する場合に、費用助成をするよう要望し、実現しました。

対象者

県内在住者で初診日における妻の年齢が43歳未満。夫婦が揃って受診すること。

所得制限

夫婦合算の前年の所得額が400万円未満

助成額

検査費用の7割（自己負担3割）1組1回限り



むこがわ特別支援学校の新設 自立と社会参加できる教育環境づくりを

2022年4月、西宮市に「むこがわ特別支援学校」が新設されました。これは、阪神南地域の「県立芦屋特別支援学校」と「阪神特別支援学校」に通学する児童生徒数が増加し、定員を大幅に上回る状況にあり、今後も生徒数の増加が見込まれることから、教育活動に制限のかかる状態をいち早く解消するため、新たな特別支援学校の早期整備の必要性を訴えてきました。



尼崎市の児童虐待の急増に対応 尼崎こども家庭センターの開設

尼崎市の児童虐待に関する相談件数が急増しているのを受け、児童虐待相談への迅速できめ細かな対応を目指すため、県所管の「尼崎こども家庭センター」が2021年4月に開設されました。市の子育ての多様な相談・支援機能と県の児童相談所を組み合わせ、虐待の予防と解決を図ります。尼崎市が設置している子育てに関する総合支援施設「いくしあ」（あまがさき・ひと咲きプラザ内）に隣接する、ひと咲きタワー内に設置。尼崎市との連携をさらに進め、対応力の強化を目指しています。



「兵庫県・尼崎こども家庭センター」はひと咲きタワー内に設置されています

尼崎の夜間中学、市外からも生徒を受け入れ

義務教育を修了していない人らが通う夜間中学「市立成良中学校琴城分校」は、2021年4月より市外の生徒も受け入れています。以前は市内在住・在勤者を対象にしていたが、阪神地域の他の7市町に住んでいる生徒も受け入れています。経済的に苦しかったり、不登校になったりと諸事情で中学校教育を受けられなかった人たちが、外国籍の生徒らの受け皿として学びの機会を保障しています。



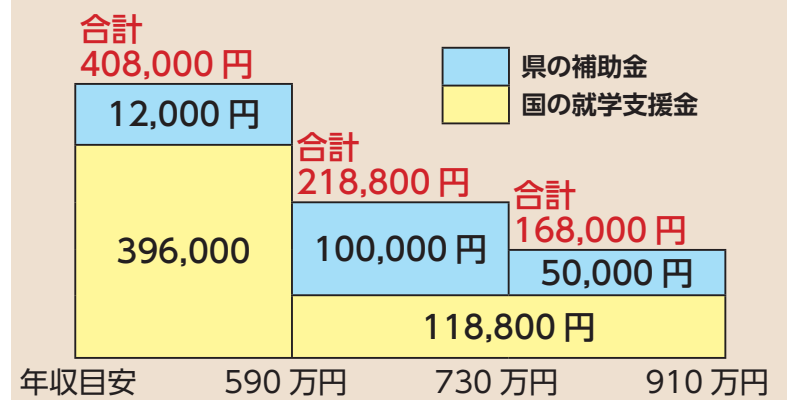
夜間中学「市立成良中学校琴城分校」

私立高校授業料軽減補助の増額

2020年から国の私立高校授業料の実質無償化がスタートし、国より就学支援金が支給されています。（右図参照）これにより、私立高校の授業料が全国平均以下の場合は無償となります。しかし、兵庫県の私立高校の平均授業料は全国平均よりも12,000円高いこと、年収590万円を超す世帯に対する就学支援金がこれまでどおり11万8800円で、大きな支援額の格差があることが課題でした。

県議会公明党・県民会議は、国の就学支援金制度に加え、県独自の拡充策が必要であることを強く要望し、県として補助金増額を実現できました。

2020年度からの国の就学支援金と兵庫県の授業料補助（年額）



- ※ 年収は目安です。家庭の状況（家族構成等）で大きく異なる場合があります。
- ※ 県外の私立高校に在学の場合は、県からの補助金額が異なります。
- ※ 全日制私立高校の場合の金額です。



フリースクールなど民間施設のガイドラインを作成

不登校児童・生徒を受け入れ、成長や自立を促す役割を果たしているフリースクールについて、「県教育委員会としてガイドラインを作成して連携すべきだ」と議会で何度も主張。2020年、県教育委員会はフリースクールなどの民間施設に関するガイドラインを策定。教育委員会や学校に対して民間施設と連携しながら、子どもたちの人間的な成長や学習活動をサポートしていけるよう呼びかけています。



障害児者リハビリテーションセンター「あまりハ」の機能拡充



第 355 回定例会で
質問しました！

県議会公明党・県民会議が推進し、県立障害児者リハビリテーションセンター（あまりハ）が2020年2月に開設。さらに2021年の県議会9月定例会で質問し、利用者からの要望を反映し、2022年度より、①補装具判定業務、②小児科医（脳神経内科）の配置が実現しました。



アマゴッタ内にある「あまりハ」

①補装具判定業務の追加

県立身体障害者更生相談所で行っている適合判定等のプランジ機能設ける。
※「電動車いす」「座位保持装置」に限定
※予約枠は週2日（火10時～12時、金13時～15時）

●利用の流れ／①利用希望者が市町窓口へ申請→②県立身体障害者更生相談所が利用希望者、あまりハ、補装具業者の日程を調整→③市町から利用希望者へ日程を連絡→受診

②小児科医（脳神経内科）の追加

利用者の多くが有するてんかんや睡眠障害等の合併症を同センターで診療するため、新たに小児科医を配置、リハビリ等との同時受診を実現。

●診察概要
月1日（第1火曜日）予約制により6人程度の診察

高齢者の安心・安全な暮らしのため自動録音機能付き電話機等の購入補助



第 347 回定例会で
質問しました！

高齢者を狙った特殊詐欺は依然として多く、被害も多大となっています。犯行では主に電話が利用されることから、被害の防止を目的に、着信時の警告や自動録音機能を有する電話機等を購入する際の補助を実施しています。県議会公明党・県民会議が定例会での質問や知事や当局に要望を続け、実現しました。



対象者

- 尼崎市に居住しかつ、尼崎市の住民基本台帳に記録されている方
- 年齢が65歳以上の方
- 2022年4月1日以降に市内店舗にて自動録音機能付電話機等を購入した方

対象機器

- 通話前の自動警告機能
- 通話中の自動録音機能
- ※ 市のホームページに優良防犯電話機推奨品目録、補助事業対象機器リストあり

申請方法

ホームページにある補助金交付申請書兼実績報告書に必要書類を添付して提出

補助額

固定電話機………上限12,000円
外付け録音機………上限6,000円

受付期間

2023年1月31日まで先着受付
(期間中であっても、予算がなくなり次第終了予定)

重度障害者等の訪問看護療養費制度の拡充



在宅医療の進展等に伴う訪問看護ステーションのニーズの高まりを受け、重度障害者等が利用する訪問看護ステーションの訪問看護療養費にかかる助成制度を拡充。医療関係者の方から要望を受け、県議会公明党・県民会議として制度拡充の必要性を知事に強く訴えました。2021年度から福祉医療制度の助成対象に、訪問看護療養費が追加され、新しい助成制度を実現。

- 対象者** 福祉医療制度の重度障害者（身体障害者1・2級、重度の知的障害者、精神障害者保健福祉手帳1級）等
- 所得制限** 市町村民税所得割額が23.5万円未満（世帯合算）等
- 自己負担** 600円/日（月2回まで）等



イメージフォト

がん患者アピアランスサポート事業



県議会公明党・県民会議が推進した「がん対策推進条例」が2019年に制定されました。総合的ながん対策を推進するための条例制定にあわせ、がん患者が社会との接点を増やすことを後押しするため、治療による外見変貌を補完する補正具の購入費用補助が実現しました。

- 補助対象** 県内在住でがん治療を受け補正具が必要な方
- 所得制限** 前年の所得額が400万円未満（※既婚者の場合、夫婦合算）
- 補助上限** 医療用ウィッグ（装着用ネット、医療用帽子）5万円、乳房補正具（乳房保護補正下着）1万円、乳房補正具（人工乳房）5万円

目や足が不自由な方の道路横断をスマホで支援



視覚障害者や高齢者の方が、信号をより安全に渡ることができる歩行者支援システム（高度化PICS）の運用を2021年12月より開始。スマホ等の専用アプリ「信GO!」が歩行者信号の情報を音声や振動で伝え、道路横断を支援します。現在、尼崎市、神戸市、姫路市の交差点計20箇所を設置。今後利用者の反応をみて徐々に拡大してまいります。

第 352 回定例会で
質問しました！



市内の運用は尼崎総合医療センター前と尼崎市役所前の交差点にあります

地域見守る防犯カメラ設置費補助事業の継続



本年、11月8日に齋藤知事へ2023年度の予算への申し入れを行い、防犯カメラ設置費補助事業の継続と更新等を含んだ拡充を要望しました。この事業は県議会公明党・県民会議が強く要望し、2010年度より開始されました。さらに継続を要望し、2022年度の設置補助予算は、500箇所（1箇所設置につき60,000円の補助）に拡充。2010年度から2022年度までで県内の4,522団体（4,897箇所）が、この補助事業を利用されています。（2022年度の受付は終了）

第 355 回定例会で
質問しました！



尼崎総合医療センター内に「患者サポートセンター」を建設



県立尼崎総合医療センターでは、小児救命救急、産科医療や認知症疾患医療など高度急性期・政策医療を中心に提供しており、開業医の先生方などの関係機関と連携・分担することで、地域一体となって患者さんへの支援を行っています。当センターでは、この機能をさらに充実させるため、来年3月（予定）に『患者サポートセンター』を開業します。入院前から入院中、退院後の生活に至るまでの支援機能を集約して『患者サポートセンター』が担うことで、患者さんやご家族に安心していただき、地域医療連携が一層円滑に推進されることをめざします。



2023年3月に開設予定の「患者サポートセンター」の完成予想図

令和3年度決算特別委員会にて質問を行いました

(質問項目一覧)



兵庫県議会
ホームページ



財政状況について (10/5)

- 1 令和3年度の施策展開について
- 2 県税収入について
 - (1) 令和3年度の県税決算について
 - (2) 地方消費税増収分の社会保障費への用途について
 - (3) 法人事業税が減収となった業種について
- 3 公営企業会計（病院事業）について

- 4 債権管理の推進について
 - (1) 債権管理目標の達成状況について
 - (2) 中小企業高度化資金について
 - (3) 新たな債権管理目標設定について
- 5 県税におけるデジタル化に対応した取組について
 - (1) 県税の納税キャッシュレス化への取組について
 - (2) デジタル媒体を駆使した情報発信力の強化について
- 6 今後の行財政運営について

産業労働部、労働委員会 (10/11)

- 1 若者・女性の県内就職促進について
- 2 商店街の活性化施策について
- 3 商工会・商工会議所の窓口相談の対応状況について

- 4 ひょうごを旅しようキャンペーンの効果について

環境部 (10/12)

- 1 ひょうごフードドライブ運動の全県展開について
- 2 再生可能エネルギーの導入促進について
- 3 生物多様性に係るレッドリスト等の県民への周知について
- 4 環境学習・教育の総合的推進について

土木部 (10/13)

- 1 道路バリアフリー化における点字ブロックについて

- 2 尼崎宝塚線（阪急立体工区）事業について
- 3 道路の法面防災事業について
- 4 武庫川水系河川整備計画の進捗状況について

教育委員会 (10/14)

- 1 高校生等防災ジュニアリーダーの育成等に対する取組について
- 2 特別支援教育における多様な学びの場の充実について
- 3 教職員の働き方改革の推進について
- 4 いじめ早期発見に向けた SNS を活用した取組について

安全安心をカタチに

まちかどの実績を一部ご紹介

歩行者信号設置 (武庫之荘4丁目交差点)



地域高齢者の方から、歩行者信号がなく、車の信号を見て横断しているが、車の信号が高い位置にあり、わかりづらく、歩行者信号をつけてほしいとの相談がありました。

一時停止を設置 (水堂町・園河原公園南西)



バイクや自転車の事故が発生しており、地域の方から、子どもの遊ぶ公園でもあるため、一時停止等の事故防止ができないかの相談がありました。

危険な停止線を後退 (富松町3丁目)



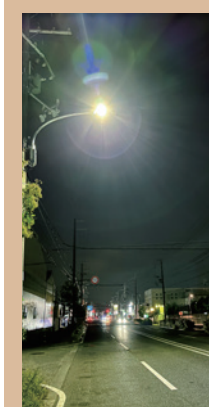
停止線が交差点に近く、すれ違いざまの接触事故が発生。通学路でもあり、子どもにとって大変危険な道のため、停止線を後退させてほしいとの相談がありました。

危険な通学路の交通規制 (難波の梅小学校東側)



学校・PTAから、通学時間帯に車やバイク、さらに大型車も通る危険な通学路のため、交通規制してほしいとの相談がありました。

道路照明灯を設置 (道意町・甲子園尼崎線(臨港線))



夜間に照明灯がなく、駐車している車にバイクが衝突する事故が発生、夜間の事故防止のために街灯を付けてほしいとの相談がありました。